

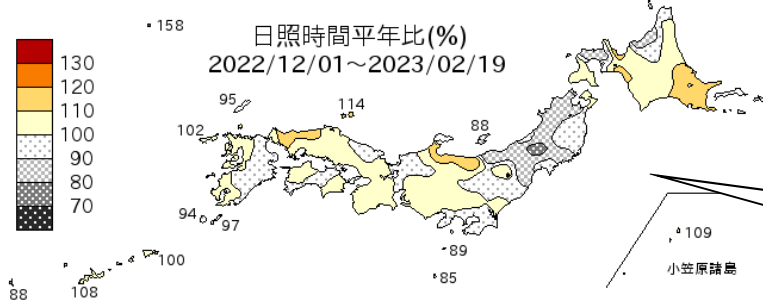
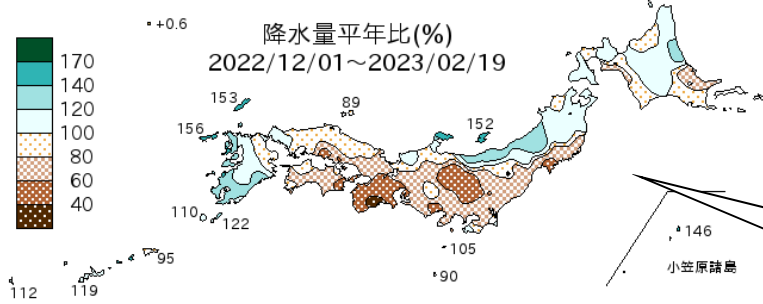
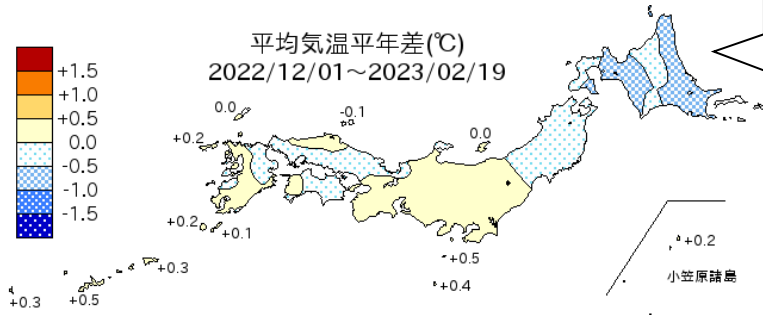
# 3か月予報 (3月~5月) 暖候期予報 (6月~8月) 解説

関東甲信地方

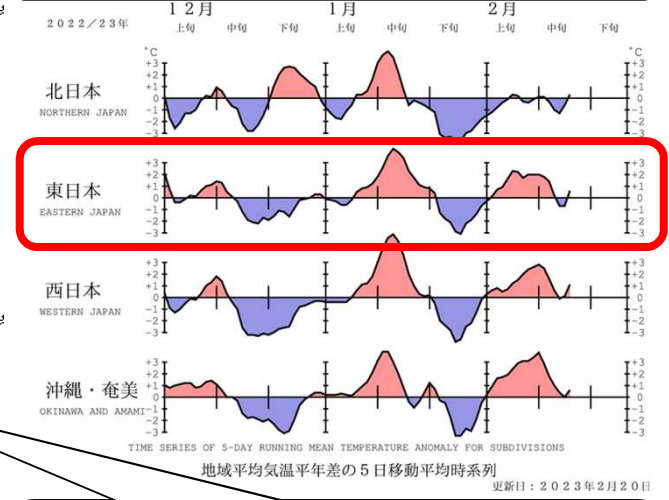


3か月予報・暖候期予報 2月21日気象庁発表  
東京管区气象台地球環境・海洋課 藤原宏章

# 冬（12月～2月（19日まで））の気温・降水量・日照時間



● **北日本で低温**  
北日本では寒気の影響を受けやすかった。1月は全国的に気温の変動が平年と比べて大きかった。



● **東日本日本海側で多雨、  
北・東・西日本太平洋側で少雨**  
北・東日本を中心に冬型の気圧配置が強まる時期があった。

● **北海道東部と西日本日本海側で多照**

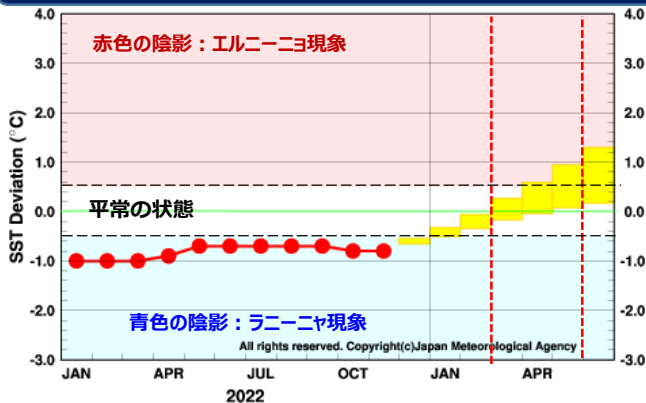
# 3か月予報 (3月～5月)



# 熱帯の海面水温の実況と今後の見通し (エルニーニョ監視速報 No.365 (2023年02月10日))

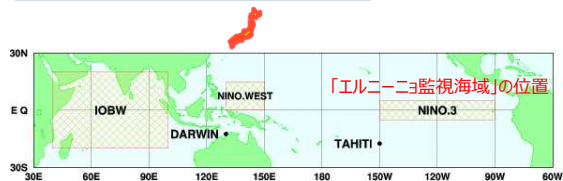
- 2021年秋から続いているラニーニャ現象は終息しつつある。
- 今後、ラニーニャ現象は冬の終わりまでに終息して平常の状態になる可能性が高い(90%)。
- その後、夏にかけてエルニーニョ現象が発生する可能性と平常の状態が続く可能性が同程度である(50%)。

## エルニーニョ／ラニーニャ現象の経過と予測

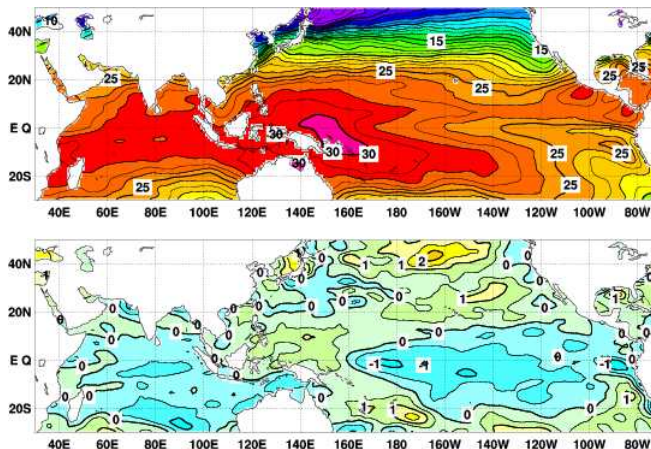


エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差(実況と予測)

## エルニーニョ監視海域



## 2023年1月の海面水温・偏差



2023年1月の海面水温(上図)、偏差(下図) 単位：℃

1月の実況: 2021年秋から続いているラニーニャ現象は終息しつつある。1月のエルニーニョ監視海域の海面水温の基準値からの差は $-0.4^{\circ}\text{C}$ で、基準値に近い値だった。ラニーニャ現象発生に使用している5か月移動平均値の11月の値は $-0.8^{\circ}\text{C}$ で、15か月連続して $-0.5^{\circ}\text{C}$ 以下となった。太平洋赤道域の海面水温は西部で平年より高く、中部から東部で平年より低かった。海洋表層の水温は西部から中部で平年より高かった。太平洋赤道域の日付変更線付近の対流活動は平年より不活発、中部の大気下層の東風(貿易風)は平年より強かった。このような海洋と大気の状態は全体的にはラニーニャ現象の特徴が続いているが、太平洋赤道域中部では海面水温が平常に近い状態となってきたことから、2021年秋から続いていたラニーニャ現象は終息しつつあることを示している。

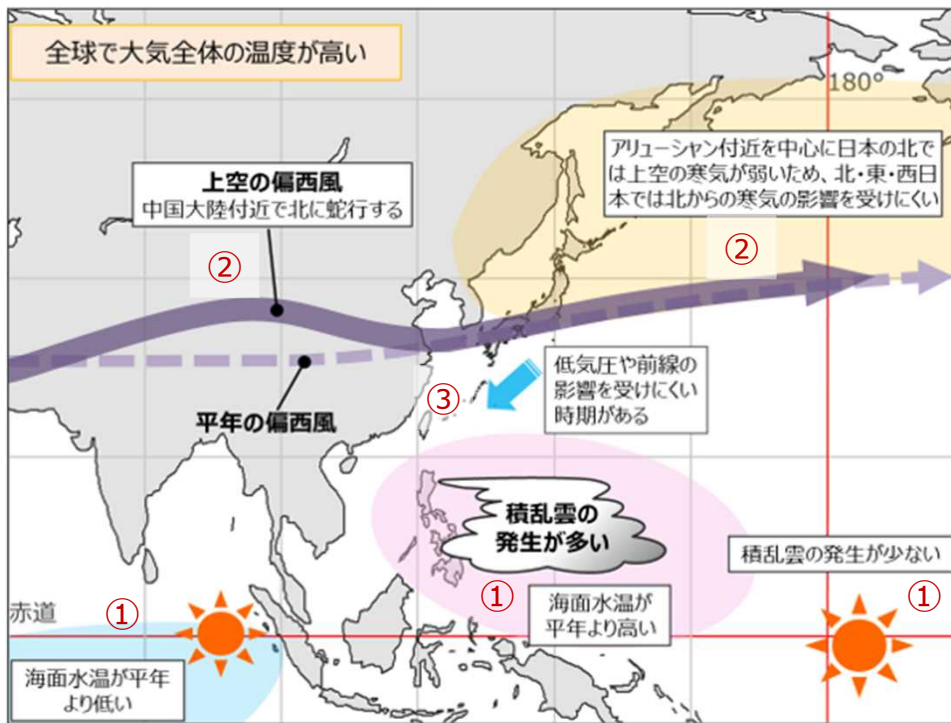
# 予想される海洋と大気の特徴 (03月～05月)

地球温暖化の影響等により、**全球で大気全体の温度が高い**でしょう。

① **ラニーニャ現象の影響が残る**ため、海面水温は太平洋熱帯域西部で高く、インド洋で低い見込みです。このため、**積乱雲の発生はフィリピン付近で多い**でしょう。また、**日付変更線付近は積乱雲の発生が少ない**状態が続く見込みです。

② アリューシャン付近を中心に上空の寒気が弱いため、**北・東・西日本では北からの寒気の影響を受けにくい**見込みです。上空の偏西風は中国大陸付近で北に蛇行するでしょう。

③ 積乱雲の発生がフィリピン付近で多い影響により、**沖縄・奄美付近では、低気圧や前線の影響を受けにくい時期がある**でしょう。



数値予報結果をもとにまとめた予想される海洋と大気の特徴 (03月～05月)





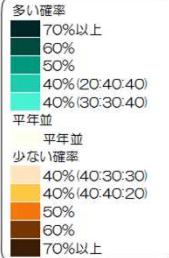

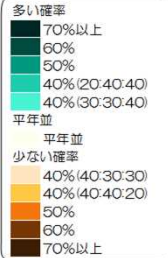
左の①～③は、  
上図中の①～③に対応した説明文です。

# 向こう3か月の天候の見通し (関東甲信地方 03月～05月)

## 予報のポイント

- 寒気の影響を受けにくいいため、**向こう3か月の気温は高い**でしょう。
- 向こう3か月の**降水量は、ほぼ平年並**の見込みです。

## 3か月の平均気温・降水量

	 平均気温（3か月） 03～05月	 降水量（3か月） 03～05月
関東甲信地方	低 20 並 30 高 50 高い見込み	少 30 並 40 多 30 ほぼ平年並の見込み
 数値は予想される 出現確率です	  <ul style="list-style-type: none"><li>多い確率</li><li>70%以上</li><li>60%</li><li>50%</li><li>40% (20:40:40)</li><li>40% (30:30:40)</li><li>平年並</li><li>少ない確率</li><li>40% (40:30:30)</li><li>40% (40:40:20)</li><li>50%</li><li>60%</li><li>70%以上</li></ul>	  <ul style="list-style-type: none"><li>多い確率</li><li>70%以上</li><li>60%</li><li>50%</li><li>40% (20:40:40)</li><li>40% (30:30:40)</li><li>平年並</li><li>少ない確率</li><li>40% (40:30:30)</li><li>40% (40:40:20)</li><li>50%</li><li>60%</li><li>70%以上</li></ul>



# 月別の天候、月別の平均気温・降水量 (関東甲信地方 03月～05月)

	03月	04月	05月
月別の天候 (関東甲信地方)	天気は数日の周期で変わり、 <b>平年と同様に晴れの日が多い</b> でしょう。	天気は数日の周期で変わり、 <b>平年と同様に晴れの日が多い</b> でしょう。	天気は数日の周期で変わり、 <b>平年と同様に晴れの日が多い</b> でしょう。

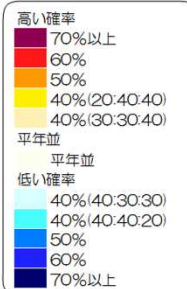
	平均気温 02月	平均気温 03月	平均気温 04月
関東甲信地方	低 20 並 <b>40</b> 高 40 <b>平年並か高い</b> 見込み	低 20 並 <b>40</b> 高 40 <b>平年並か高い</b> 見込み	低 20 並 <b>40</b> 高 40 <b>平年並か高い</b> 見込み



数値は予想される  
出現確率です



凡例



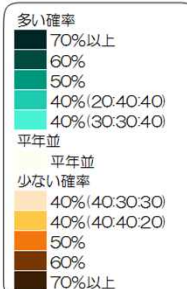
	降水量 02月	降水量 03月	降水量 04月
関東甲信地方	少 30 並 <b>40</b> 多 30 <b>ほぼ平年並</b> の見込み	少 30 並 <b>40</b> 多 30 <b>ほぼ平年並</b> の見込み	少 30 並 <b>40</b> 多 30 <b>ほぼ平年並</b> の見込み



数値は予想される  
出現確率です



凡例

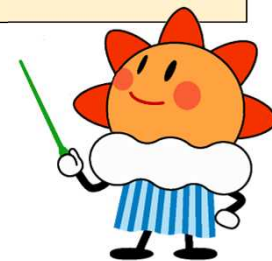


# 予報期間中の注意点等

- 気温は高い見込みで、**春の訪れが早い可能性**があります。

高温傾向のため、植物の成長も早まる可能性があり**農作物の管理**に注意！

積雪の多い地域では**落雪やなだれ、融雪**に注意！！



- ・ 早期天候情報や週間天気予報、警報・注意報など気象情報に留意して、早めの備えを心がけてください。
- ・ なお、3月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用下さい。



# [参考] 過去10年の03月～05月の天候

関東甲信・北陸・東海地方の最近10年間の  
3か月間平均気温（平年差）・降水量（平年比）・日照時間（平年比）と階級

年	関東甲信	北陸	東海
2022	1.0	1.0	1.2
2021	1.4	0.8	1.2
2020	0.4	0.3	0.6
2019	0.4	0.5	0.4
2018	1.9	1.1	1.4
2017	0.1	0.5	0.0
2016	1.2	1.2	1.1
2015	1.1	1.0	0.8
2014	0.1	0.0	-0.1
2013	0.6	-0.3	0.4

年	関東甲信	北陸	東海
2022	120	86	110
2021	105	112	131
2020	120	92	101
2019	87	89	90
2018	126	135	138
2017	76	72	74
2016	89	81	112
2015	82	107	92
2014	88	102	103
2013	79	84	78

年	関東甲信	北陸	東海
2022	102	114	100
2021	102	106	100
2020	107	104	111
2019	113	121	112
2018	111	105	110
2017	109	113	106
2016	99	109	100
2015	105	113	100
2014	119	115	115
2013	116	108	117

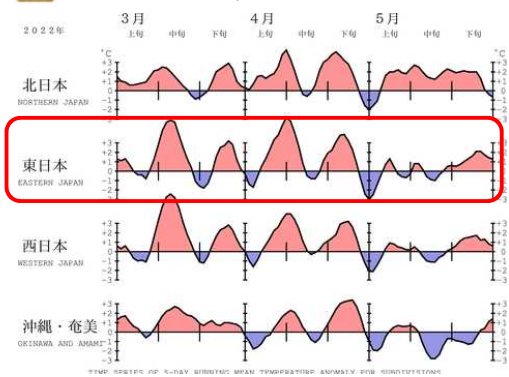
● 春にラニーニャ現象発生

● 春にエルニーニョ現象発生

平均気温	かなり低い	低い	平年並	高い	かなり高い
降水量	かなり少ない	少ない	平年並	多い	かなり多い
日照時間	かなり少ない	少ない	平年並	多い	かなり多い



## 昨年の気温経過



- **最近10年の3～5月は、ほとんどの年で高温。**
- 2022年3～5月の平均気温は、3月と4月の高温が顕著。



# 暖候期予報 (6月～8月)

～夏の天候の見通し～



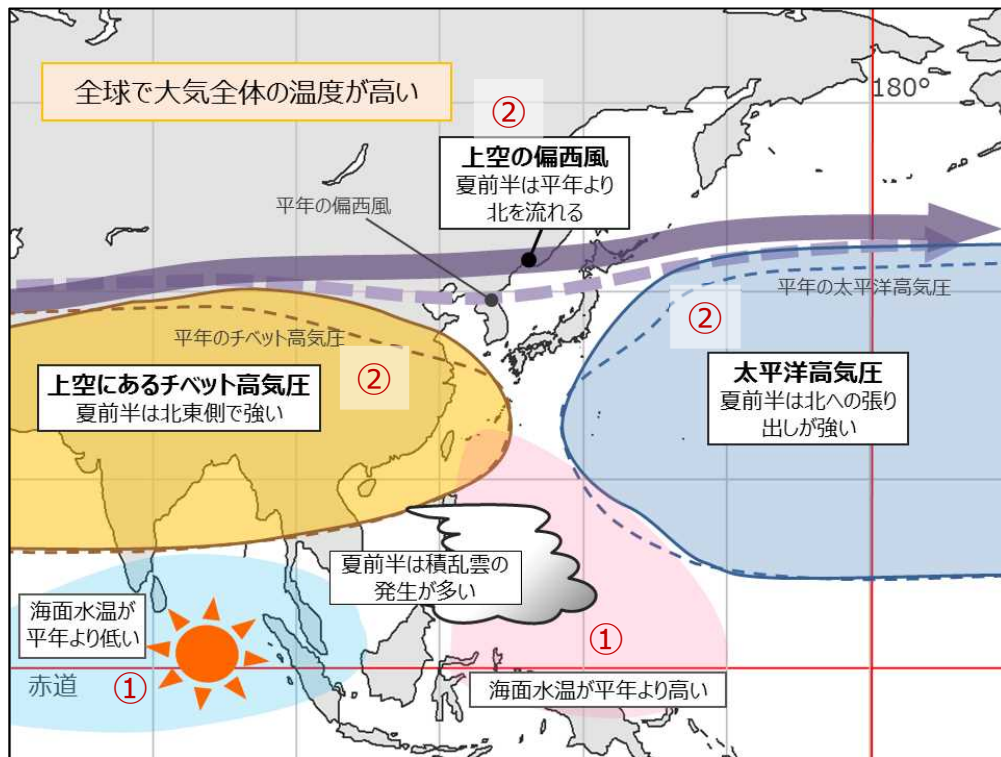
# 予想される海洋と大気の特徴 (06~08月)

地球温暖化の影響等により、**全球で大気全体の温度が高い**でしょう。

① **夏前半を中心にラニーニャ現象の影響が残る**ため、海面水温は太平洋熱帯域の西部で高く、インド洋熱帯域で低い見込みです。このため、積乱雲の発生は南シナ海からフィリピンの東海上で多いでしょう。

② これらの影響により、**夏前半を中心にチベット高気圧は北東側で強く、上空の偏西風は日本付近で平年より北を流れる**でしょう。また、**太平洋高気圧は北への張り出しが強い**でしょう。

このため、**北・東・西日本では暖かい空気に覆われやすい**見込みです。



数値予報結果をもとにまとめた予想される海洋と大気の特徴 (06~08月)

左の①~②は、上図中の①~②に対応した説明文です。

# 夏の天候の見通し (関東甲信地方 06月～08月)

## 予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、夏の気温は平年並か高いでしょう。
- 梅雨の時期（6月から7月）と夏の降水量は、ほぼ平年並の見込みです。
- 6月から7月は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。その後は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

## 夏（06～08月）の平均気温・降水量

	 平均気温（3か月） 6～8月（夏）	 降水量（3か月） 6～8月（夏）	 梅雨期間降水量 6～8月
関東甲信地方	低 20 並 40 高 40 <b>平年並か高い</b> 見込み	少 30 並 40 多 30 <b>ほぼ平年並</b> の見込み	少 30 並 40 多 30 <b>ほぼ平年並</b> の見込み
数値は予想される 出現確率です			

# 予報期間中の注意点等

- 暖かい空気に覆われやすく、高温または高温傾向です。  
⇒ **暑さに慣れないうちの熱中症対策、  
農作物の管理（病害虫対策を含む）に注意!!**
- 夏の降水量はほぼ平年並の見込み。  
⇒ **例年、梅雨時期には災害に繋がるような  
大雨が起きやすいため、最新の気象情報等に留意。**



- ・ 早期天候情報や週間天気予報、警報・注意報など気象情報に留意して、早めの備えを心がけてください。
- ・ なお、予報については、新しい予報を適宜ご利用下さい。

